



児嶋よしひこ (志政会所属)

議会だより

令和5年10月発行
発行/静岡市議会志政会
編集/志政会 広報部
〒420-8602
葵区追手町 5-1 本館 2 階
Tel: 054-653-3412

9月議会

令和5年9月議会が9月13～10月11日まで会期29日で開かれました。
私は9月22日の総括質問にて、会派を代表して、①産業振興 ②大規模災害時の対応
③子育て支援 ④ICT教育 ⑤公園整備 ⑥脱炭素への取組について質問を行いました。
(以下は質問抜粋です)



1. 産業振興（企業立地）について

静岡市の人口減少を抑制するためには、多くの雇用を生み出すことが必要であり、そのためには、新たに多くの企業が本市へ進出できる用地が必要です。特に多くの雇用を生み出す製造業が進出できる用地が、規模の大小を問わず必要と考えます。

しかしながら、本市は総面積に対して可住地面積が少ないことから、企業立地用地として利用できる土地に限られており、低利用の土地が点在しているため、まとまった土地として活用しにくい状況です。そのため企業に提供できる土地情報が少なく、具体的な立地に結びつきにくくなっています。

(*3頁 9月補正参照)



Q 企業立地の実現に向け、これまで行ってきた開発可能性調査等を踏まえ、今後どのように企業立地用地を確保していきますか

A (市長答弁) 過去の調査の再検証を行い、改めて候補地の掘り起こしを行うことに加え、新東名静岡のスマート IC 周辺や国 1 バイパス沿道の由比蒲原周辺など、これまで調査を行っていない地域の掘り起こしを行います。また、土地の点在により活用が進んでいない問題については、民間と連携しながら集約化の手法を検討していきます。

2. 大規模災害時の対応について

阪神大震災や東日本大震災のような大規模災害では、避難所での生活が長期間になり、飲料水や食料、毛布やマットなどの寝具、トイレ等の衛生関連、電源・通信環境・生活用水等、様々な備えが必要となります。

トイレについては、以前トイレトレーラーの導入を要望しましたが、通信については、スマホで衛星通信が利用できるようになるとの情報があります。長期間の停電に対しては、非常用電源が必要であり、照明だけでなく、医療ケアのための電源、スマホなどの通信機器の充電、夏場であれば扇風機や冷蔵庫、その他様々な電源が必要になってきます。

Q 避難所における非常用電源の配備状況はどのようですか



ガソリン式発電機の例

A 地域防災計画では、避難所の運営を行うため、「非常用発電機」を配備することとしており、避難所の照明やデジタル防災無線などの使用を目的に、ガソリンを燃料として発電機を 257 ヶ所全ての避難所に 1～4 台配備しています。

一部の避難所では、平常時における施設運営用の電源として、蓄電池 80 台、太陽光発電 22 基が備わっていますが、これらを災害用の非常用電源としても活用でき、電気自動車・燃料電池自動車 5 台でも電源をカバーできます。

3. 子育て支援について

静岡市では、保育所などの定員拡大や、子育て環境の充実に積極的に取り組んできた結果、6年連続待機児童ゼロを達成していますが、これは4月時点の待機児童ゼロであり、年度の後半になるにつれて待機児童は増えていきます。出産休暇後や育児休暇後に職場復帰するのは4月とは限らず、いつから子どもを入園させたいかの情報を事前に入手し、年度初めに定員を空けておくことは可能かと思えます。

また、放課後児童クラブでも同様に待機児童がいて、特に夏休み期間は、親が子どもをクラブに預けたいニーズが高くなり、スペースの問題や預ける時間などの問題があります。



Q 子どもの待機児童解消に向けてどのような取組を行っていますか。

A ニーズが多い0歳児を各園が安定的に受け入れることができるよう、私立子ども園等に対して、0歳児担当保育士を確保するための人件費を助成するとともに、各区の子育て支援課において、入所可能な園の斡旋を行うなどの取組を行っています。

Q 放課後児童クラブの待機児童の現状と、待機児童ゼロに向けての取組はどうなっていますか。

A 低学年の児童は全員受け入れができたが、4年生以上の高学年で計64人の待機児童が発生しています。年度当初から一定数の待機が見込まれる学区については、学校などの空きスペースを活用した公設児童クラブ室の整備を行い、民間児童クラブの運営も支援しています。

4. 小中学校のICT教育について

本市では小学3年生以上に対して令和3年11月までに、小学1・2年生に対して令和4年7月までに1人1台のタブレット端末を配布しました。志政会では、9/14に西奈小学校2年生のICTを使った授業を視察したところ、先生方は教えるのが上手で、児童達も慣れている様子でした。（*4頁 活動報告参照）

普通教室でタブレット端末を使うのが中心ですが、特別教室や体育館、校庭でタブレット端末を使った授業も想定され、普通教室以外でのネットワーク環境が悪いケースもあるようです。

Q 小中学校における1人1台端末のネットワーク環境の改善に対し、これまでの取組と今後の取組はどのようですか。

A 教室での通信状態の向上を図るため、令和3年度に児童生徒数の多い65校でインターネット回線を増強し、更に35校の回線の増強改善に着手しています。今後は、通信が届きにくい教室や運動場等における端末の利用を進めるため、学校に対し、モバイルルータの活用を進めていきます。

【意見・要望】

- ・ 産業振興については、企業側が立地しやすい条件を考慮した立地用地の早期創出と、若者の市内企業就職促進のため、高校生や市内大学生が企業側と直接交流する機会を更に増やす取組をお願いしたい。
- ・ 大規模災害時の対応については、全ての避難所で、停電時に必要な発電量を整備しつつ、将来的にはエアコンが使用できるレベルの発電量を確保できるよう、太陽光発電と大容量蓄電池の整備や、電源供給車の活用を進めてもらいたい。また、災害ボランティアの受入体制の整備と、市としても平時体制から有事体制へ、職員一人ひとりが素早く行動できる備えをお願いしたい。
- ・ 子育て支援については、出産直後や育児休業中に、職場復帰予定時期の情報から事前に備えることにより、年度途中の待機児童ゼロに向けた取組をお願いしたい。また、放課後児童クラブは夏休みの対応など、保護者のニーズをしっかりと反映した対応をお願いしたい。
- ・ ICT教育については、先生がICT指導のためにテレビの画面を使用していますが、後ろの席の生徒は見づらいつと感じたので、大型スクリーンにプロジェクターで映写するなどの改善と、通信が届きにくい場所で使用するモバイルルータの実施状況を調査し、更なるニーズを取り入れた対応をお願いしたい。

静岡市議会では、本会議の様子を生中継と録画中継でご覧いただけます。

右のQRコードから、私の全質問項目が確認でき、本会議の動画もご覧いただけます。是非、ご覧ください。



こじま・議会動画

9月補正予算

41億1,487万円追加 (債務負担行為 36億9,781億円)

■ 小中学校の特別教室へのエアコン整備

静岡市では、学校現場からの要望や酷暑が続く状況を踏まえ、音楽室や理科室等の特別教室についてもエアコンの整備を進めていきます。事業費は約70億円（令和8年度まで）。まずは特別教室の利用率が高い中学校から進め、中学校については令和7年度中、小学校については令和8年夏までに整備を終える予定です。

【対象校数】 小学校 72校 440室・中学校 41校 411室 計 113校 851室

【スケジュール】 ○設計 中学校 令和5~6年度 小学校 令和6年度

○工事 中学校 令和6~7年度 小学校 令和7~8年度



■ 企業用立地確保のための調査

静岡市は山間地が大半を占め、企業の進出できる大規模な土地が少ないため、企業の新規立地件数が少なく、面積も小さい。企業立地の実現のため、開発可能性がある土地を抽出し、道路への接続、上下水道のインフラや法規制の状況などを調査した上で、情報を公開するシステムを構築していきます。

【対象地域】 ① 平成27~28年度に調査した地域

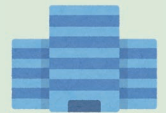
新東名 新清水・清水いはら・新静岡インターチェンジ周辺

東名清水インターチェンジ周辺、国道1号バイパス各インターチェンジ周辺

② 追加調査する地域

新東名静岡スマートインターチェンジ周辺、国道1号バイパス沿線 由比・蒲原周辺

国道150号沿線小坂・用宗周辺、その他日本平など



市民環境教育委員会



市民局・区役所・環境局・教育局の令和4年度決算審査と令和5年9月補正予算について審議し、下記のような意見要望を伝えました。

【小中学校のトイレフレッシュ工事】 トイレ改修工事の前倒しを更に推進してもらいたい。

【部活動環境支援事業】 指導員費用を保護者が負担しないよう、予算を確保してもらいたい

【区の魅力づくり事業】 「駿河トロバレーウィーク」をより魅力的なイベントとしてもらいたい。

【LGBTQフレンドリー推進事業・男性相談事業】 有能なコーディネーターや相談員を確保し、より多くの困っている人達が安心して生活できるよう対応してもらいたい。

【プラスチックごみ分別回収】 実証実験も含め、より効率的なシステムを構築してもらいたい。

難波市長と「政策情報交換会議」を行いました

志政会では、難波市長と定期的に「政策情報交換会議」を行っています。第2回の会議を8月22日に開催し、自然災害に対する危機管理体制の改善や経済対策について意見交換を行いました。

特に危機管理体制については、「初動全力」に向けた体制の見直しや減災に向けた取組み、復興段階における経済対策について意見を交わしました。



活動報告



教育現場視察を行いました



■ 小学校特別教室を視察 ～ 安東小学校 ～

志政会では以前より、「小中学校の特別教室へのエアコン整備」を市に要望してきました。志政会は難波市長とともに、暑い盛りである7月21日に安東小学校を訪問し、音楽室などの特別教室や体育館などを視察しました。

エアコンのない特別教室の暑さは酷いものであり、教員や児童が熱中症にならないかと心配になるほどでした。学校現場からもエアコン設置の要望が出ましたが、今回の9月補正で、小中学校の特別教室にエアコンが整備されることとなりました。（*3頁9月補正参照）

■ 低学年のICT教育を視察 ～ 西奈小学校 ～

志政会では毎年教育現場視察を実施していますが、令和2年より特にICT教育について力を入れ、視察を行っています。

今年は9月14日に西奈小学校を訪れ、小学2年生の授業で、1人1台のノートパソコンを使い、様々な課題に取り組む様子を視察しました。皆楽しそうに授業を受けており、操作に困る様子などはあまり見受けられませんでした。ICT教育には教員のICTスキルが必要不可欠ですが、学校側が自主研修を行い、スキルアップを図っているとのことでした。



先進事例の視察を行いました

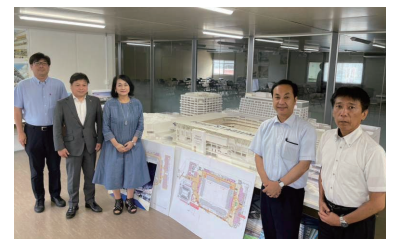


■ 観光 MaaS 先進事例 糸島市「よかまちみらいプロジェクト」

「よかまちみらいプロジェクト」は、昭和グループ関連会社（トヨタ系列会社）が、地域社会の発展にモビリティ事業を通して貢献することを目的に展開されています。①オンデマンドバス ②カーシェア ③電動レンタサイクル ④web版交通総合案内を、地元住民や観光客が手軽に利用できるシステムになっていました。年々これらの設置数や可動範囲が拡大されているということです。

■ スタジアム建設先進事例 長崎市「長崎スタジアムシティプロジェクト」

「長崎スタジアムシティプロジェクト」は、ジャパネットタカタが民間主導の地域創生モデルとして主導しています。スタジアムだけでなく、アリーナ・ホテル・オフィスビル・商業施設が併設するまちづくりを実践しています。経済波及効果として、年間850万人の来場と、工事や施設での雇用を生み出すということです。今後、病院の誘致や託児所の設置なども計画されています。



■ 防災対策先進事例 熊本市

静岡市の危機管理体制強化のため、熊本地震を経験した熊本市役所危機管理防災部にお話を伺いました。BCPや受援計画の策定はもちろんですが、平時から理解し訓練を重ねることで「初動全力」が実現できる、経験を重ね意識を高めていく必要があるとのことでした。これは行政（公助）だけでなく、共助にあたる地域や企業などとも連携し、それぞれの役割を明確にしながら進めていく必要があります。

熊本市長と（左から3番目）



議会だよりを送付させていただいた方の住所など変更がありましたら、お手数おかけしますが下記まで変更内容をご連絡ください。（今後送付不要の方も住所と氏名を下記までご連絡ください。）

携帯電話：090-3484-8199（ショートメールでも可）メールアドレス：kojimagoshihiko@outlook.jp